

実際に使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

#### 【使用方法】

- クモアリや不快な害虫に直接噴射して退治します。
- 植物に使用する場合は通常は30cm以上離して断続的に噴射しますが、巣穴への噴射の場合はノズルを巣穴に差し込み、周囲の植物に噴射ガスがかからないように噴射してください。
- ノズルが詰まる原因となりますので、ノズル使用時は、ノズルを巣・虫穴などに強く押し込まないでください。
- 130秒以上、連続噴射しない。

【注意事項】 ファンヒーターの近く×マーク 炎に向かって噴射×マーク 換気マーク

- 体調のすぐれない時は噴射しない。人体に向けて噴射しない。
- 誤飲、吸入などのないよう注意。誤飲の場合、または使用中に身体に異常を感じた場合は直ちに医師の手当を受ける。
- 風上から噴射するなどして、噴霧を吸い込んだり浴びたりしないように注意。
- 皮ふに付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 噴射中や噴射当日は噴射区域に小児やペットが立ち入らないようにする。
- 風向きなどを考え、噴霧が周辺の人家、通行人、ペット、ペットの餌、洗濯物、玩具、観賞魚などに飛散してかからないように注意。
- 本品は植物に影響の少ない成分を使用しているが、クモやアリ退治で垣根や庭木にはじめて使用する場合は、一部で薬害の有無を確認してから使用する。
- 芝生に使用する場合、環境条件（高温、乾燥等）により薬害が生じる場合があるので、事前に小面積で薬害の有無を確認してから使用する。
- 活着前や栽培管理（水やり、肥料やり等）が不十分で生育不良の芝生では使用しない。
- 食用作物、活着前の植物、栽培管理（水やり、肥料やり等）が不十分で生育不良の植物、草花、花卉などにはかからないように注意。また、それらの植物を植えてある鉢や株元に飛散・流入させない。
- 農薬ではないので、植物保護の目的では使用しない。【太字で記載】
- 噴射液がかかっても汚損しにくいですが、塗装面などにはじめて使用する場合は、一部で汚損の有無を確認してから使用する（変色）。
- 作業後は直ちに手足、顔など皮ふの露出部を石けんでよく洗い、うがいをする。
- 室内での使用の際は換気を十分行い、飲食物・食器類、衣類、家具などの家財類にかからないように注意。
- 噴霧が水槽、池、河川などに入らないように注意。
- 噴霧がかかった不快害虫は種類によって異なるが数分～数十分後には退治される。
- ゴミとして出すときは、火気のない通気性のある屋外で中身排出機構を利用するか、噴射音が消えるまでボタンを押してガスを抜き、地域の規則に従って出す。

#### 【保管】

飲食物・食器類と区別し、直射日光をさけ、小児の手の届かない冷涼な場所に保管。  
車の中や暖房器具（ファンヒーター等）の周囲は、温度が上がり破裂する危険があるので置かない。水回りや湿気の多い場所には保管しない。